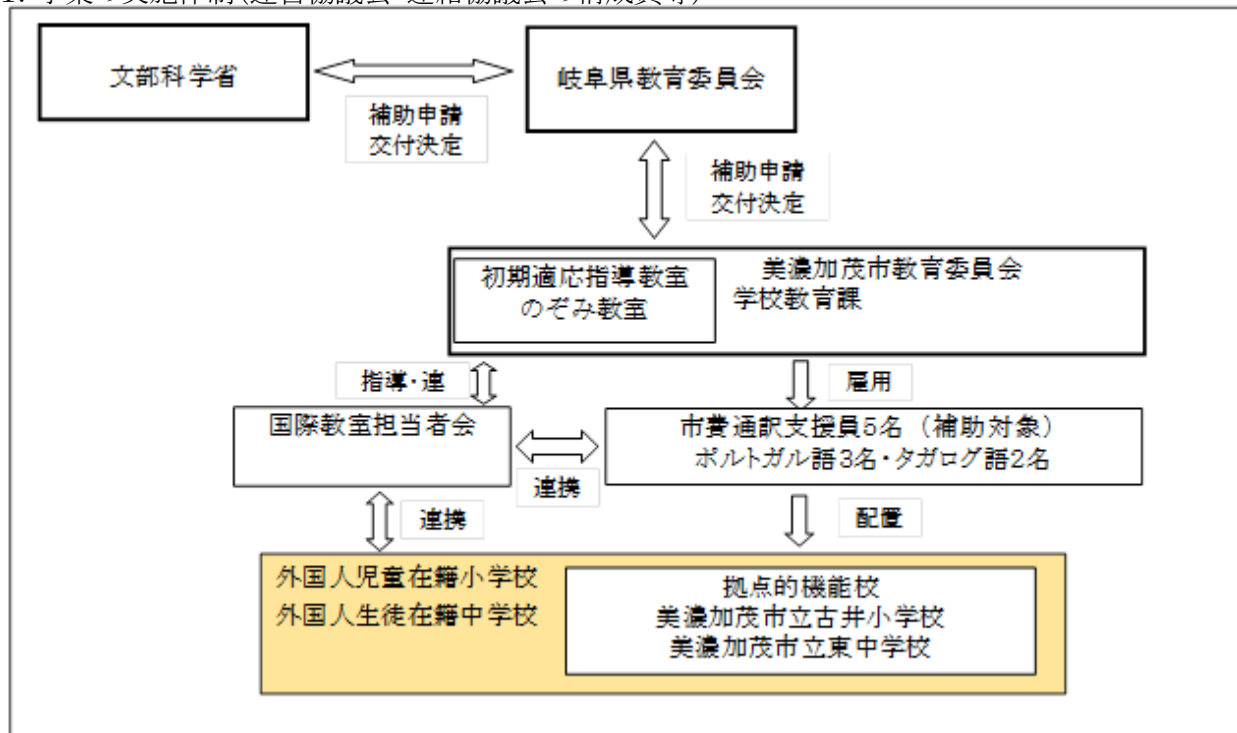


令和2年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

平成2年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること
 (2) 拠点校の設置等による指導体制の構築 (必須実施項目)

・古井小学校

指導について、主幹教諭(多文化共生)は、指導内容や指導体制について指導・助言を行った。そして、県作成のカリキュラムの実践と指導方法の工夫改善を図った。主幹教諭が中心となって、授業にかかわる教材を学校グループウェアで共有化を図った。

・東中学校

指導教諭(多文化共生)が中心となって、授業における取り出し指導・入り込み指導の時間を効率的に編成し、担当する教職員及び支援員の配置を行った。西中学校との兼務において、教材の共有化や指導方法の改善によって、生徒の学力向上及び教職員の負担軽減を図った。

(4)「特別の教育課程」による日本語指導の実施 (必須実施項目)

・市の国際教室担当者会において、主幹教諭(多文化共生)を中心に「特別の教育課程」による日本語指導にかかわる協議を行った。

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣
 古井小学校と東中学校において

- ・ポルトガル語支援員 3 名、フィリピン語 2 名の派遣。
- ・勤務時間8:30～14:30(5 時間勤務 休憩 1 時間)。
- ・児童生徒の学習支援、翻訳業務、保護者の通訳支援等。
- ・日本語指導支援員の研修(年3回)

(7) 小学校入学前の幼児や保護者を対象としたプレスクール【重点実施項目】

- ・保護者を対象とした年3回のプレスクール事業の実施
- ・初めて小学校に入学する外国人児童をもつ保護者に対して、入学に向けた書類手続きや準備、日本の教育制度について説明。
- ・保護者に対して、小学校に就学する外国人児童が、身に付けておくべき生活習慣や学校のシステム、日本語の習得について理解してもらい、スムーズに学校生活に適應していけるようにする。
 - ・第1回 令和2年10月<内容>入学の書類手続き、入学までの流れについて
 <内容>日本の学校の教育制度、学費について
 - ・第2回 令和2年11月<内容>学校生活と学習、毎日の準備について
 <内容>通学と交通安全・小学校入学後の行事について
 - ・第3回 令和3年 3月<内容>将来のためのライフプランについて

※コロナ禍のため、市公式You tubeによる配信を行った。

(12) 成果の普及 (必須実施項目)

- ・各学校の国際教室で使用した教材を学校グループウェアで共有化し、国際教室担当者会等で活用を促した。各学校の外国人児童生徒の日本語指導に生かすよう指導。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(2) 拠点校の設置等による指導体制の構築 (必須実施項目)

- 主幹教諭、指導教諭、初期指導教室コーディネーター、市教委担当とで国際教室担当者会の前に打ち合わせの会を設けることができた。担当者会で伝えるべきことについて共通理解を図ることができた。
- 市内の散在地域には主幹教諭や指導教諭が配置されていないため今年度は指導に行く機会がなかったが、散在地域校の国際教室担当者に対しても指導に行くことができるよう工夫した取組を行いたい。

(4) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施 (必須実施項目)

- 主幹教諭(多文化共生)から「特別の教育課程」「個別の指導計画」について統一した指導があることで、一人一人の実態に合った計画を立てることができ、明確な指導ができた。
- コロナ禍で市の国際教室担当者会における授業公開を行うことはできなかったが、「外国人児童生徒支援訪問」では県の教材を使った指導実践のもと指導方法について指導主事から指導していただく場を設けることができた。
- 今年度は市の担当者会を開催することができなかったが、次年度以降各校で取り組んでいる実践を交流し、県の教材の活用方法や児童生徒への指導方法について、広めていきたい。

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- 授業は日本語で行うため、日本語指導支援員の役割は大変大きい。教師の指示や教科書の難しい言葉を分かりやすく伝えることで、児童生徒の理解力の向上につながった。
- 保護者への連絡においても大変重要な役割を果たしている。提出物や行事のお知らせなど文書では伝わらないことを伝えてくれた。
- 児童生徒がトラブルになったとき、子どもの思いを聞き、教師に伝えることで、公平な生徒指導につながった。
- 保護者への文書連絡は必要なことのみ精選して翻訳することで、わかりやすく伝えることができた。
- 勤務時間が決められているため、放課後の保護者対応ができないことがあった。また、保護者への電話連絡が昼食時間に重なることが多く、休憩時間の確保を各校に呼び掛けた。
- 日本語指導支援員の確保が大きな課題である。言葉が話せるだけでなく、授業内容についてもある程度理解できる人材でないと務まらない(特に中学校)。本市は多くの人材を必要としていることから次年度以降も人材をしっかりと確保することが、児童生徒の学習支援にとって大切である。

(7) 小学校入学前の幼児や保護者を対象としたプレスクール【重点実施項目】

- 今年度はコロナ禍の影響で会場に集まって説明することはできなかったが、市の公式YouTubeを活用し、説明を配信することで、家庭で自分の時間で説明を聞く場を作ることができた。言語もポルトガル語、タガログ語の2語配信することができた。
- 保育園を通じて動画配信の案内を保護者宛に送ったが、一方的な説明のため、内容を保護者が十分理解できていたか心配である。

(12) 成果の普及 (必須実施項目)

- 県教育委員会の外国人児童生徒カリキュラム開発推進委員会が公開している、「にほんごワークブック」や「ワークシート」については各校に周知することができ、活用についても広まってきている。
- 学校グループウェアを十分に活用することができず、各校の取り組みが市内全体に広がっていない。

日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒の割合	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	100%	100%	%	%	%	%
うち、個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒の割合	24%	23%	%	%	%	%

* 目標達成の基準を、取り出しをしなくてもよい児童生徒としています。

4. その他(今後の取組予定等)

- ・学校グループウェアによる教材の共有化
- ・外国人児童生徒カリキュラム開発推進委員会と連携し、「にほんごワークブック」や「ワークシート」の活用
- ・年間5回のプレスクール事業の実施

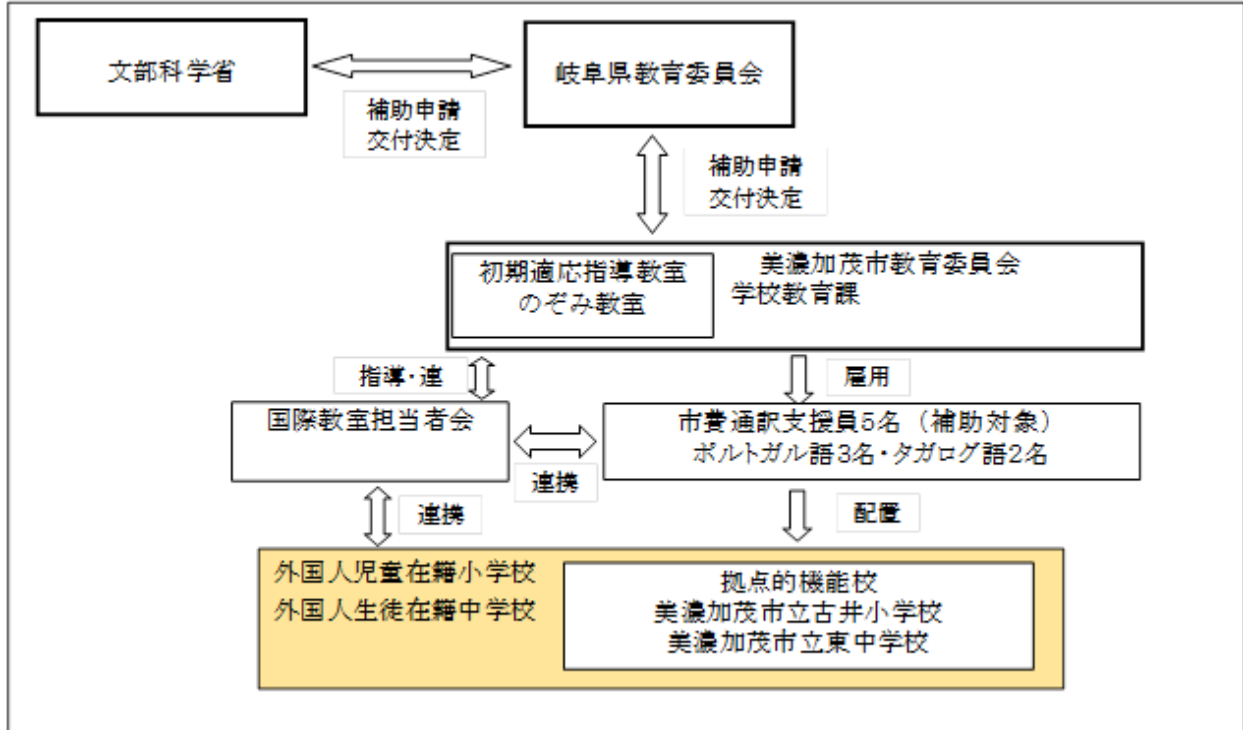
※枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

地方公共団体名【 美濃加茂市 】 ふりがな (いずもり しゅういち)
担当者氏名【 狛守 秀一 】

TEL: 0574-28-1137 / FAX: 0574-28-1129 / E-mail: kyouiku@city.minokamo.lg.jp

平成2年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



2. 具体的取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること
(2)拠点校の設置等による指導体制の構築 (必須実施項目)

・古井小学校

指導について、主幹教諭(多文化共生)は、指導内容や指導体制について指導・助言を行った。そして、県作成のカリキュラムの実践と指導方法の工夫改善を図った。主幹教諭が中心となって、授業にかかわる教材を学校グループウェアで共有化を図っている。

・東中学校

指導教諭(多文化共生)が中心となって、授業における取り出し指導・入り込み指導の時間を効率的に編成し、担当する教職員及び支援員の配置を行った。西中学校との兼務において、教材の共有化や指導方法の改善によって、生徒の学力向上及び教職員の負担軽減を図た。

(4)「特別の教育課程」による日本語指導の実施 (必須実施項目)

・市の国際教室担当者会において、主幹教諭(多文化共生)を中心に「特別の教育課程」による日本語指導にかかわる協議を行った。

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

古井小学校と東中学校において

・ポルトガル語支援員 3 名、フィリピン語 2 名の派遣。

・勤務時間8:30～14:30(5 時間勤務 休憩 1 時間)。

- ・児童生徒の学習支援、翻訳業務、保護者の通訳支援等。
- ・日本語指導支援員の研修(年3回)

(7) 小学校入学前の幼児や保護者を対象としたプレスクール【重点実施項目】

- ・保護者を対象とした年3回のプレスクール事業の実施
 - ・初めて小学校に入学する外国人児童をもつ保護者に対して、入学に向けた書類手続きや準備、日本の教育制度について説明。
 - ・保護者に対して、小学校に就学する外国人児童が、身に付けておくべき生活習慣や学校のシステム、日本語の習得について理解してもらい、スムーズに学校生活に適応していけるようにする。
 - ・第1回 令和2年10月<内容>入学の書類手続き、入学までの流れについて
 <内容>日本の学校の教育制度、学費について
 - ・第2回 令和2年11月<内容>学校生活と学習、毎日の準備について
 <内容>通学と交通安全・小学校入学後の行事について
 - ・第3回 令和3年 3月<内容>将来のためのライフプランについて(予定)
- コロナ禍のため、市公式Youtubeによる配信

(12) 成果の普及 (必須実施項目)

- ・各学校の国際教室で使用した教材を学校グループウェアで共有化し、国際教室担当者会等で活用を促した。各学校の外国人児童生徒の日本語指導に生かすよう指導。

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(2) 拠点校の設置等による指導体制の構築 (必須実施項目)

○主幹教諭、指導教諭、初期指導教室コーディネーター、市教委担当とで国際教室担当者会の前に打ち合わせの会を設けることができた。担当者会で伝えるべきことについて共通理解を図ることができた。

●市内の散在地域には主幹教諭や指導教諭が配置されていないため今年度は指導に行く機会がなかったが、散在地域校の国際教室担当者に対しても指導に行くことができるよう工夫した取組を行いたい。

(4) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施 (必須実施項目)

○主幹教諭(多文化共生)から「特別の教育課程」「個別の指導計画」について統一した指導があることで、一人一人の実態に合った計画を立てることができ、明確な指導ができた。

○コロナ禍で市の国際教室担当者会における授業公開を行うことはできなかったが、「外国人児童生徒支援訪問」では県の教材を使った指導実践のもと指導方法について指導主事から指導していただく場を設けることができた。

●今年度は市の担当者会を開催することができなかったが、次年度以降各校で取り組んでいる実践を交流し、県の教材の活用方法や児童生徒への指導方法について、広めていきたい。

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

○授業は日本語で行うため、日本語指導支援員の役割は大変大きい。教師の指示や教科書の難しい言葉を分かりやすく伝えることで、児童生徒の理解力の向上につながった。

○保護者への連絡においても大変重要な役割を果たしている。提出物や行事のお知らせなど文書では伝わらないことを伝えてくれた。

○児童生徒がトラブルになったとき、子どもの思いを聞き、教師に伝えることで、公平な生徒指導につなが

った。

○保護者への文書連絡は必要なことのみ精選して翻訳することで、わかりやすく伝えることができた。

●勤務時間が決められているため、放課後の保護者対応ができないことがあった。また、保護者への電話連絡が昼食時間に重なることが多く、休憩時間の確保を各校に呼び掛けた。

●日本語指導支援員の確保が大きな課題である。言葉が話せるだけでなく、授業内容についてもある程度理解できる人材でないと務まらない(特に中学校)。本市は多くの人材を必要としていることから次年度以降も人材をしっかりと確保することが、児童生徒の学習支援にとって大切である。

(7) 小学校入学前の幼児や保護者を対象としたプレスクール【重点実施項目】

○今年度はコロナ禍の影響で会場に集まって説明することはできなかったが、市の公式YouTubeを活用し、説明を配信することで、家庭で自分の時間で説明を聞く場を作ることができた。言語もポルトガル語、タガログ語の2語配信することができた。

●保育園を通じて動画配信の案内を保護者宛に送ったが、一方的な説明のため、内容を保護者が十分理解できていたか心配である。

(12) 成果の普及 (必須実施項目)

○県教育委員会の外国人児童生徒カリキュラム開発推進委員会が公開している、「にほんごワークブック」や「ワークシート」については各校に周知することができ、活用についても広まってきている。

●学校グループウェアを十分に活用することができず、各校の取り組みが市内全体に広がっていない。

日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒の割合	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	100%	100%	%	%	%	%
うち、個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒の割合	24%	23%	%	%	%	%

* 目標達成の基準を取り出しをしなくてもよい児童生徒としています。

4. その他(今後の取組予定等)

- ・学校グループウェアによる教材の共有化
- ・外国人児童生徒カリキュラム開発推進委員会と連携し、「にほんごワークブック」や「ワークシート」の活用
- ・年間5回のプレスクール事業の実施

※枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。